

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2026年(令和8年)1月1日

会報 第142号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【本部事務局】〒369-1246 埼玉県深谷市小前田1552-1
TEL 048-580-7048 FAX 048-580-7049
E-mail info@aac21.net【カンボジア事務所】Royal park condo, Street 608, Toul kok,
Phnompenh, Cambodia
(855) 17-599-707【ホームページ】 [カンボジア支援](#) [検索](#)【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

カンボジアの小・中・高校で新学期始まる

日本の新学期は概ね4月だが、カンボジアの場合は11月1日。コロナ禍で学校が一時閉鎖され、新学期が数カ月先になった時期もあったが、昨年あたりからようやく通常の11月に落ち着いた。

9月～10月の2ヶ月間、カンボジアの小・中・高校は「長い休み」だったが、11月1日にスタートした新学期に登校した生徒たちは友達との再会を喜び、フレッシュな気持ちで授業に臨んでいた。



通学風景



新学期の授業始まる



売店でおやつ



清掃時間

前橋市で講演会開催

8月26日、根岸理事長の古くからの友人である斎藤芳子さん(前橋市在住)が所属する「ルネッサンス・サロン」の定期会合が「群馬県立図書館」(群馬県前橋市)のホールで行われ、根岸理事長が「カンボジアの現状」について講演した。今年の3月にカンボジアを訪問した時のスライドも上映、資料として最新の会報を配布した。



講演会後記念撮影

当日は猛暑だったが約20名の前橋市民らが集い、講演終了後質疑応答も行われ、10名以上の方々が最近のカンボジアについて熱心に質問していた。

講演会の様子は、翌日発行の地元紙(上毛新聞)に掲載された。

お年玉募金にご協力お願いいたします

今年も、お年玉募金にご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様の高齢化や長引く不況などにより、本会の活動を支えてくださる会員数が減少しております。それでも、こうした苦境の中にあっても長年にわたり、本会の活動を支援して下さる皆様には心より感謝しております。

今年のお年玉募金は、昨年に続き教育里子への支援金(奨学金)に充当させていただきますので、皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。同封しました所定の振込票をご利用ください。

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

(活動のための諸費用含む)

- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。
(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

夢をあきらめない

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会

理事長 根岸恒次

私は12月11日が来ると77歳になります。77歳は喜寿と言われるように、昔から長寿を喜ぶ年のようですね。5月には中学時代の幼馴染みと共に喜寿を祝う同窓会を行い、34人が集いました。まだ現役で働く人も多くいて、年を感じさせない同窓生に元気をもらいました。

とはいえすでに後期高齢者の仲間入り、日々健康に暮らすことを第一としつつも、片一方で終活を始めている自分があります。80代になると、更にその傾向が強まることでしょうか。

最近夢をよく見ます。大体睡眠が浅くなる朝方に見ますが、特に亡くなった方たちが時々登場します。本会の関連では、山口信正さん、佃井庸八さん、鈴木千雄さん、角田勲さん、山本哲郎さんなど、会の最盛期を支えてくださった面々と、夢の中で会っています。

こうした皆様を始めとする、沢山の会員さんが支援を継続してくれたお陰で、本会が活動を始めて丸26年

が経ちました。メインの活動である「クメール教育里親基金」を始めに、学校建設、井戸建設、遊具建設、現地交流等を展開して参りました。どの活動も大事な柱ですが、9月に完成した井戸がとうとう400基を達成しました。2003年に初めて井戸を掘り23年間で400基、換算すると毎月1基以上を作ってきたことになりました。私自身は最初の2基のみ資金を提供しましたが、後の398基は、会員さんたちが浄財を提供して下さった善意の結集です。

水不足に悩む農村の人々や子どもたちにとり、福音になったことは間違いありません。

20年ほど前、専属カメラマンの遠藤啓さんが、小学校の近くにある池で水を飲む生徒たちを撮影して反響を呼びました。今では立派な井戸が備えられ、もう池で生徒たちが水を飲む姿を見ることはありません。日本人の善意が、多くの子どもたちの命を救いました。

水道の敷設が遅れている僻村では、未だに雨水や池に貯まった水を飲み暮らしています。井戸の需要がある限り当面500基を目標に、もう少し頑張りたいと思います。

さて最近、日本人が世界で活躍しています。野球では、大谷選手を筆頭に多くの日本人選手がメジャーリーグで活躍しています。サッカーでは、とうとう日本代表があつたブラジル代表を初めて破りました。そして今年のノーベル賞は医学と化学のダブル受賞となり、昨年の「被団協」の平和賞に続く快挙でした。

そして政治では、アメリカに先んじて女性の総理誕生となり、何か世の中が明るくなった感があります。こんな時代が来るなんて、これまで生きて来て良かったと思います。

しかしこうした活躍の裏には、地道な努力の積み重ねがあつたに違いありません。

本会は2026年から、27年目の活動に入ります。あと4年で創立30



もう池で生徒たちが水を飲む姿を見ることはありません。

(遠藤啓さんより提供)

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば80年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さんありがとう

Facebookに本会の活動を随時投稿しています

教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。

(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)

また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツー・マンの教育支援です。

ボランティアで
会報発送のお手伝い

8月10日(日)、埼玉県内にお住いの会員さん3名が事務局に集まり、9月1日付会報(141号)の封入作業を手伝ってくれた。翌々日には地元の寄居郵便局から全国の会員さんに、郵送を済ませることができた。

シンホンさんを囲んで
楽しいランチ会

作業終了後、皆さんが持ち寄ってくれた昼食を食べながら楽しい懇親会を行った。

また、学校の校舎建設等でお世話になっている「KH」グループ代表のシンホンさんが仕事で来日中、忙しい中時間を割き陣中見舞いに来てくれた。

これからも会員相互の親睦交流を兼ね発送作業を行うので、お手伝いできる方は事務局にご一報を。(駐車場あり)

☎048・580・7048
FAX 048・580・7049



チヨン・ポッティアリーちゃん(女の子)

●両親離婚、母親のみ。弟1人、妹が2人いる。現在母親、弟、妹、祖母と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で15分。

アムブレピン小学校
(コンボンスプー州コーンピセイ郡)
5年生(10歳)

スム・キムホウイちゃん(女の子)

●両親離婚、母親のみ。弟2人、妹が1人いる。現在母親、弟、妹と暮らす。
●好きなこと＝本を読むこと。
●学校まで徒歩で10分。

アムブレピン小学校
(コンボンスプー州コーンピセイ郡)
4年生(9歳)

ヒー・ソックミアンちゃん(女の子)

●母親死亡、父親のみ。妹が1人いる。現在父親、妹と暮らす。
●好きなこと＝縄跳びをすること。
●学校まで徒歩で10分。

アムブレピン小学校
(コンボンスプー州コーンピセイ郡)
3年生(8歳)

ニエン・セイハーくん(男の子)

●両親離婚、母親のみ。兄3人、弟が1人いる。現在母親、祖母、兄、弟と暮らす。
●好きなこと＝サッカーをすること。
●学校まで徒歩で15分。

アムブレピン小学校
(コンボンスプー州コーンピセイ郡)
5年生(11歳)

ソル・ソックコンちゃん(女の子)

●両親離婚、母親のみ。兄弟姉妹なし。現在祖母と暮らす。
●好きなこと＝絵を描くこと。
●学校まで徒歩で15分。

アムブレピン小学校
(コンボンスプー州コーンピセイ郡)
6年生(13歳)

2つの小学校に井戸を寄贈

完成した井戸の前で
記念撮影完成した井戸水で
顔を洗う生徒たち水道がない地方では雨水や
池の水をカメに入れて暮らす

▶9月10日、現地スタッフが「キリソックサン小学校」(クラチェ州スヌオル郡・生徒数=87人)を訪問、「カンボジア教育支援西予」(代表=広瀬稔さん・愛媛県在住の会員)と山口亭 平井一清さん(愛媛県西予市)が寄贈した井戸の贈呈式を行った。「西予CATV」が協力してくれた。

▶9月10日、現地スタッフが「ヤエ小学校」(クラチェ州スヌオル郡・生徒数=68人)を訪問、「国際ソロプチミスト安城」(愛知県安城市)が寄贈した井戸の贈呈式を行った。同団体は本会を通じて2016年からカンボジアの小学校を支援、井戸、遊具、トイレ棟、ソーラーシステムなどを寄贈している。

カンボジアでは都市から離れた僻村に水道がなく、水源は川や池の水(又は雨水)に依存しています。幸い、地中30メートルの井戸を掘ればきれいな水が確保できるので、皆様からのご支援をお待ちしています。

||||| 高等学校卒業試験行われる |||||

カンボジアでは、8月に高校卒業試験が全国一斉に行われた。受験者総数は144,848人、その84.5%に当たる122,473人が合格した。昨年の合格率は79%だったので、昨年を上回った。試験科目は地球と環境・地理・歴史・生物学・外国語・クメール語・数学・化学・物理学・道徳(公民)となっている。



高校卒業試験

高校卒業試験合格は、大学進学の大前提条件となっており、不合格になると多くの生徒は卒業できないまま就職するしかないが、中には留年して次年度に再挑戦するケースもある。

本会が奨学金を支援している高校生の里子のうち3年生だった14人が高校卒業試験に臨んだ結果、9人が合格、5人が不合格になった。全国平均よりやや低い合格率だった。

合格した里子の大半が大学又は専門学校に進学する方向、残念ながら不合格になった里子の多くが就職の道を進むが、1人だけ留年して、来年の高校卒業試験に挑戦するという。

「クメール教育里親基金」の対象は原則として高校までとなっているが、上の学校に進学する場合は教育里親さんにご協力いただき、同金額を前提に教育支援を継続している。

ウオッチ カンボジア

9月に本会会員さんがカンボジアのアンコールワットを観光した感想として、前回の訪問時と比較し遺跡の周辺整備が進んでいたとの報告があった。世界最大級の石造建造物を大切に保存したいもの。

整備された
アンコールワット

整備されたアンコールワット遺跡群

9月から10月にかけて、カンボジア北部及び中部を中心に豪雨が断続的に続き、ラタナキリ州、シエムリアップ州、クラチェ州において河川の氾濫や鉄砲水により、深刻な被害が発生した。住宅やインフラが広範囲にわたって浸水、各地で住民避難が進められた。幸い人的被害は確認されなかった。



9月10日、現地スタッフが「ヤエ小学校」(クラチェ州スヌオル郡・生徒数=68人)を訪問、「国際ソロプチミスト安城」(愛知県安城市)が寄贈した井戸の贈呈式を行った。同団体は本会を通じて2016年からカンボジアの小学校を支援、井戸、遊具、トイレ棟、ソーラーシステムなどを寄贈している。

カンボジアで豪雨被害拡大、シエムリアップ州等で洪水

カンボジア全土で9月21日から23日まで行われた伝統行事「プチュンバン祭」お盆行事において、国内の旅行者数が前年比20.1%増の21万4224人を記録した。観光省によれば、旅行者の大半を国内観光客が占め、一部外国人旅行者の姿もみられたという。



カンボジアのお盆

カンボジアお盆でにぎわう

一方既存の「ポチエントン国際空港」は9月8日に閉鎖された。400haの跡地は国有資産として維持され、将来的には経済開発への活用が計画されている。



新空港

カンボジアの首都プノンペンに、南方約20kmに位置する「テチヨ国際空港」が、9月9日に開港した。総事業費15億ドルを投じて建設された同空港は、カンボジア航空業界最大の規模のインフラ整備事業であり、国際競争力の向上を図る戦略拠点として注目される。

プノンペンに新空港が開港

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- 国内では円安、現地カンボジアにおきましては物価が高騰しておりますので、やむを得ず里子へのプレゼント代を下記の通りに値上げさせていただきます。どうぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。
- 事務局に届いた里子プレゼントにつきましては、年に1～2回程度になりますが、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、なるべく海外送金可能な現金をお送りください。

現地購入品目一覧表

- 自転車(中古品) 9,500円
- お米(50キロ入り) 5,500円
- 通学用カバン 3,500円
- サッカーボール 3,000円
- ティシャツ2枚&サンダルセット 2,500円
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) 1,500円
- 文房具セット(ノート、筆記用具類) 1,500円

※同封の振込票にてご送金をお願いいたします。



現地スタッフが里子に 奨学金(教育支援金)を 届けています

現地カンボジアでは、教育里子が通学する小学校(現在25校)を現地スタッフが3ヶ月に一回のペースで訪問、教育里親より頂戴した年会費の中から4回に分け、カンボジア通貨(リエル)に換金して奨学金を届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も卒業した小学校に集まり、奨学金を受け取っている。

9月15日～20日の間に2人の現地スタッフ(ドライバー含む)が各小学校を訪問し、奨学金と教育里親からのプレゼントを届けた。



奨学金を届けました

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在198人(9月末日現在)の子どもたちを教育支援している。

今年から奨学金配布を年6回から4回に変更(3月・6月・9月・12月)、教育里子への支援金額を、教育里親年会費の45%に当たる13,500円にアップした。3ヶ月に1回の支援金額は225ドル(現地通貨で9万リエル)(1ドル1150円程度で換算)。先生への謝礼は別途支払う。

9月15日～20日、現地スタッフ(2人)が25の支援校を回り、里子たちに奨学金や教育里親からのプレゼントを届けた。

学校は9月10月が2ヶ月間の「長い休み」中だったので、教育里子のみ登校してもらった。12月下旬頃に、今年最後の奨学金や里親さんからのプレゼントを届ける予定。

写真11右から
ウイター・ジワーちゃん
(里親は樋口さん)
コリヤン・ユールファンちゃん
(里親は三上さん)
ユン・クムヒアン君
(里親は廣澤さん)
シアン・コサル君
(里親は廣澤さん)
ユーン・バンニヤサク君
(里親は武藤さん)
ニコル・ンパンニャーちゃん
(里親は平本さん)
(ワトクタイ小学校に在学。ウイター・ジワーちゃんはウィルボン中学校に在学)



クメール教育里親基金活動レポート

投稿 「PEACE BOAT」で 地球一周してきました

宮下 隆
(東京都在住 会員)

定年退職後カンボジアにご縁ができ、ご当地の子供達の笑顔に接することができるようになりました。一方暇にまかせ、自転車で日本一周いたしました。

そんな折、世界一周の船旅が大幅割引で募集されている事を知り、冥土のみやげにとび乗ることにいたしました。

ピースボートは今回が「VOYAGE120回」の船旅です。何と第1回は42年前、カンボジア地雷撤去の旅だったことを乗船後知り、嬉しくなりました。

42年前といえばポルポト時代がようやく終わり、日本が真っ先に地雷撤去にのり出した頃でしょうか。ピースボートに集う若者達が「私達も手伝おう」と決めた様です。

場所はカンボジアの北東部、コーケー遺跡に近い場所、ポルポト軍の撤退路で最も地雷の多い所です。その後も活動は宮々と続けられ、今までに小学校を4校建設したそうです。

今回のピースボートは西回りで地球一周、18カ国21カ所の寄港地を見学しながら平和を訴える旅でした。ノーベル平和賞「被団協」の方が乗船しておられ、「I CAN」の代表の方と共にニューヨークでは、国連で核兵器廃絶を訴えてこられました。地球のいたる所で紛争が拡大し、戦禍に脅え飢えに苦しむ人々の姿が伝えられています。井戸や学校ができ喜ぶ、カンボジアの子供達の笑顔が世界中の子供達に戻ることを祈り、旅を終えました。



世界一周の旅

投稿 ダン・ダ・ダンス

今 紀子(東京都在住 会員)

「Kバレエ」をご存じだろうか。かの有名なバレエダンサーK氏が立ち上げた。プロの「バレエ団」の他に、健康や美容の為にバレエを始める大人のためのスタジオもある。

私は60歳近くになって、縁あってEスタジオという所でバレエを始めた。バレエは何しろ、飛んだりねたりまわったり。バレエは「ピルエット」というクルッとまわる動作がある。プロは何十回とまわるけれど、私達は1回できれば上々。そしてこの私めは「ダブルピルエット」という2回転に挑んだのだ。それをやりたいために「Kバレエ」に入団ではなく、入スタしたのであった。

すでに70代。スタジオで先生が他の人にアドバイスしているのを盗んで、毎日畳の上で練習した。蒲団をしいて。ころんでも痛くないように。けがをしないように。

そして、ある日チャンスが訪れた。先生が「全員ダブル。できてもできなくてもやってみる」チャンスチャンス!そして、大成功!

その時の先生は、バレエ団でプロにも教えていらっしゃる方で、いつも指導して下さいるS先生もレッスンをうけていたのだ。次のレッスンでS先生が私に「ダブルやってみて」と言う。勇躍ダブルピルエット!先生から太鼓判をいただいた。感激!

人間というのは、何と欲ばりなんだろう。さらに上を目指してと思っていた矢先。「障害者手帳」を持つ身になった。自分の性格を考えるとこれ以上の猛動は控えた方がいい。自分の健康の為に、すっぱり足を洗った。

いまは、ホームともいえるEスタジオでレッスンを続けている。体調がおもわしくない時は、レッスンの途中でもサッサと帰ってしまうというわがままな「ババリーナ」でございます。

カンボジアで韓国人多数が行方不明

韓国政府は、カンボジア国内において複数の韓国人が行方不明になっていることを公表、特別調査団を現地に派遣し、カンボジア当局との連携を強めている。その目的は、行方不明者の実態解明及び救出、詐欺組織の解体だ。

韓国政府の推計では、カンボジア国内で最大千人の韓国人が詐欺業務に従事させられている可能性があり、被害実態の全容は依然として把握できてない。安否不明が確認されている韓国人は、80人に達しているという。

これらは、中国系を含む犯罪詐欺集団がSNSなどを通じた偽求人広告で韓国人をカンボジアに誘い、特殊詐欺のアジトで強制労働させているもので、その被害者とおぼしき韓国人大学生の遺体が8月に発見された。遺体には無数の傷があり、何らかの理由で拷問された上遺棄されたようだ。

日本人も29人が現地で拘束され、強制送還され逮捕された事案が発生したばかりだが、将来ある日韓の若者が安易な誘いにのり、異国のカンボジアでひどい目に遭っている実態が明らかになってきた。

一方犯罪組織の温床になっているカンボジアとしては、はた迷惑な話だ。簡単に入国でき、国内の取り締まりが甘いせいだろうか。カンボジア人が犯罪に加担しているわけではない。

ここは日韓とカンボジア当局が連携し、カンボジアのイメージアップのためにも対策を強化してもらいたい。



カンボジアから韓国へ
移送される韓国人

投稿 世界最大の果物 ジャックフルーツ

青木 貴之(カンボジア在住・KHJグループ総務)

ジャックフルーツは日本語で「パラミツ」とも言い、実の長さ70cm、幅40cm、重さ40～50kgに達することもあり、世界最大のフルーツになります。

大きいものは美味しくないという勝手な偏見がありますが、大きいだけではなく、私はカンボジアのフルーツの中で一番おいしいと思っています。ちょっと薄味で、さわやかな香りでたくさん食べたくなる感じます。

お店で買えば、実の中の粒をバラバラにしてくれますが、自分で切って食べる際は、中の樹液の粘度が非常に高く、手や服に付くと中々落ちないので注意が必要です。

カンボジア人は日本人が体験できない贅沢をしている事もあるのです。カンボジアにお越しの際はぜひ、試しに食べてほしいものです。



ジャックフルーツ

本会の会員状況をお知らせいたします

(2025年9月末日現在)

●教育里親会員

●個人会員

●団体会員

●寄付協力者(随時)

157名

54名

9団体

31名

合計

251名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

理事長によるカンボジア訪問は、1月21日に成田を出発、2月17日に帰国することが決まりました。この間でしたら会員の皆様の訪問に対応可能ですので、ご検討ください。(但し日程調整の必要があります)日本は極寒ですがカンボジアは暑くなく寒くもなく、丁度良い季節です。

今年も「お年玉募金」にご協力頂けたら幸いです。集まった募金はすべて、教育里子への奨学金(教育支援金)に充当されます。お年玉募金用の振込票にてご送金お願いいたします。

次の会報は、カンボジア訪問終了後の3月下旬頃に発行する予定です。少し間が空きますが、訪問時の様子を中心に制作いたします。

今年の猛暑は9月まで続きましたが、短い秋を挟んでもう冬を迎えました。何だか最近、日本もカンボジアに似て2つの季節になったように思います。インフルエンザに罹りませんよう、お気をつけください。

活動に参加しませんか

正会員として

教育里親会員(年額3万円)

子どもたちへ直接払う年額

1万3千5百円(45%)

会の運営に回す年額

1万6千5百円(55%)

個人会員(年額5千円)

団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座0160916

【りそな銀行】

練馬支店 普通4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～タイ国民の世論調査～

タイ国立開発行政研究所が8月に、全国の18歳以上の1,310人を対象に全国世論調査を実施しました。その結果はタイ国民の過半数がカンボジアとの関係を「悪い隣人」と見なし、外交関係の断絶を望む傾向が明らかとなりました。5月末のカンボジアとタイ両国間の国境紛争が大きく反映しています。国境衝突以降、両国ともに大使を召還し、外交断絶状態です。両国の交渉では、カンボジアはフン・セン前首相率いるカンボジア人民党政権が主導ですが、タイ側は政権が脆弱な為軍の意向が大きいようです。ASEANも臨時総会、米国トランプ大統領、日本政府が仲介に乗り出していますが、未だ収まらず、国境地帯の軍事的緊張は続いています。数か所の国境は閉鎖されたままですが、「学生(通学者)」と「医療を要する患者」は例外的に通過可能です。タイ国民のカンボジアに対する不信感は根強いままです。同様にカンボジア国民も、タイには同じように反感を抱いています。残念なことです。双方の歩み寄りを望みます。

(写真出典: Khmer Times)

理事・会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

カンボジアミニミニNEWS

ネット記事から最近のカンボジア情報をお知らせします。

韓国外務次官がカンボジア訪問、詐欺対策で代表団派遣

韓国政府は、自国民が巻き込まれたカンボジアにおけるオンライン就職詐欺事件の対応として、外務次官を代表とする代表団をカンボジアに派遣した。

今回の派遣は、韓国人大学生が誘拐・拷問された末に死亡した事件を受けてのものであり、李在明大統領の直接の指示によるもの。

代表団はプノンペン到着後、フン・マネット首相らと会談を行い、協力体制の拡充について協議した。

新設のテチヨ国際空港、9月の月間旅客数は40万人超

カンボジア政府は、9月に首都プノンペンの南方約20kmに新設されたテチヨ国際空港が運航を開始して以降、月間旅客数が40万人を超えたと発表した。

これは前年同月比で15%以上の増加となり、民間航空分野の回復傾向を示すものとして注目されている。

現在同空港には、国内航空会社4社、国際航空会社24社の計28社が就航しており、活発な運航が続いている。

プノンペンで大規模麻薬摘発、外国人含む約200人を逮捕

カンボジア国家警察の麻薬犯罪対策局は10月16日、プノンペン市内で大規模な麻薬摘発作戦を実施し、外国人を含む約200人を逮捕した。ベトナム、中国、カンボジア国籍の男女が逮捕の対象となった。

カンボジア政府は近年、外国人が関与する麻薬犯罪に対して厳格な対応を強めていて、今回の大規模摘発もその強硬姿勢の一環と位置付けられている。

カンボジアの水道・電力インフラ、日本の円借款約444億円で強化

カンボジア経済財務省と国際協力機構(JICA)は10月13日、首都プノンペンにおける水道施設の拡張と電力供給の安定化を目的とする2件の円借款契約に署名した。

両国は2024年に「国間関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げしており、今回の協力はその枠組みに基づくものである。

急増する都市人口と水需要に対応するため、プノンペン市内の給水インフラを整備、都市生活の質の向上と経済活動の支援を図る。

プノンペン市当局、違法屋台を一斉撤去

10月9日、プノンペン市内のトゥールコック地区において、公共歩道を不法に占拠していた市場の屋台に対し、一斉撤去を実施した。当該エリアでは、長年にわたり交通渋滞の原因となっていた。

サム・ソハン副知事は「強制的な措置は本意ではないが、市の美観及び公共秩序維持のためやむを得ない対応である。歩道の不法占拠を控え、当局への協力をお願いしたい」と述べた。

カンボジアー日本路線開設で観光・貿易の促進図る

カンボジアの国営航空会社「エア・カンボジア」は10月26日より、東京・成田国際空港とプノンペンのテチヨ国際空港を結ぶ新路線を開航した。

中国・福建省の国際空港を経由する形で週3便(水・金・日)が運航され、観光及び貿易の活性化を目的としている。カンボジアと日本の人的・経済的交流の一層の発展が期待される。

25年のカンボジア成長予測、世界銀行が4.8%に下方修正

世界銀行は2025年のカンボジアの実質経済成長予測見通しを、従来の6.0%から4.8%へと引き下げた。

10月7日に発表されたこの見通しは、米国の関税引き上げ及びタイとの国境紛争といった外的要因が、同国の成長を抑制すると判断されたことによる。

8月1日、米国のカンボジアからのすべての輸入品に対して19%の関税を課したことが、カンボジア経済に深刻な打撃を与えたと説明している。

一懐かしき1枚

19年前の2006年3月、縫製の職業訓練プロジェクトの卒業式がプノンペン市内で行われました。日本からも多くの会員さんが出席してくれました。

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	(TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]		

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。